

【履修方法】

1. 通則

- (1) 研究指導のうち、自己の専攻する専門分野から一研究指導を選定する（入学時に決定）。
- (2) 学生の研究指導を担当する教員を指導教員とし、論文の作成、研究一般については、その指導に従うこと。
- (3) 前項のほか、指導教員が必要と認めるときは、所定の単位外にその指定する授業科目をも履修すること。

2. 修士課程（2年制）

- (1) 修士の修了要件は、通常2年以上4年以内在学し、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。
- (2) 前項の30単位は、通常次の区分のように履修する。

	研究指導	履修科目
第1年度	指導教員の行う研究指導	演習科目、講義科目を30単位(以上)履修
第2年度	指導教員の行う研究指導	
※1年次春学期に「スポーツ科学演習(2単位)」を履修しなければならない。また、指導教員担当の演習(1)A・B、(2)A・Bの計8単位は必修とする。		

- (3) 本大学の他研究科または他大学大学院(含 海外の大学院)で修得した講義科目の単位は、それぞれ10単位を限度として、併せて10単位までを修了要件である単位に替えることができる。

3. 修士課程（1年制）

- (1) 修士の修了要件は、通常1年以上2年以内在学し、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。
- (2) 前項の30単位は、通常次の区分のように履修する。

	研究指導	履修科目
第1年度	指導教員の行う研究指導	演習科目、マネジメント科目、基礎選択科目、講義科目を30単位(以上)履修
※1：ただし、指導教員担当の演習(1)A・B 計4単位、マネジメント科目6単位は必修とする。 ※2：エリートコーチングコースは「エリートコーチング総合演習(2単位)」、「スポーツ科学演習(2単位)」、「論文作成技法(2単位)」、「エリートコーチング演習(1)A・B」、マネジメント科目8単位を必修とする。		

- (3) 本大学の他研究科または他大学大学院(含 海外の大学院)で修得した講義科目の単位は、それぞれ10単位を限度として、併せて10単位までを修了要件である単位に替えることができる。

4. 博士後期課程

- 博士の学位を取得しようとする者は、通常3年以上在学し、指導教員の行う研究指導を受けたうえ、博士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。